

令和5年第2回定例会一般質問

6月19日(月)

1番 川野 辰徳 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 事務事業評価 について	大分市は条例改正により、評価のメンバーに市民の代表も加えて、公平、公正の面からも機能しています。市長はこれをどうお考えか伺います。	市長	
2 関係人口交流 拠点施設「c o c o m i o」に ついて	新しく選定された指定管理者も半年以上経過しています。事業目標の中身とその個々の進捗を伺います。	市長	
3 市民と市長と の定期的な交流 会について	新型コロナも第5類に移行されました。市報やホームページ等ではなく、市長の生の声で、市政の運営等をお話いただき、市民の方々の生の声をおくみ取りいただきたく、市長のお考えを伺います。	市長	

16番 衛藤 竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 重要文化的景観について	<p>9万年前の阿蘇火山の噴火でできた、本市の地形は溶結凝灰岩が覆う丘陵地帯です。本市はジオパーク・エコパークを推進し、地域経済や産業、観光等に繋げていこうと取り組んでいます。</p> <p>これまでの歴史の中で人間は様々な知恵と労力、伝統と文化を継承しながら肥沃な土地を作り、それを守ってきました。</p> <p>この度、令和5年3月20日に文化庁から緒方川と緒方盆地の農村景観が国重要文化的景観に選定されたことは、本市としても喜ばしいことです。</p> <p>緒方川、井路、水田、集落、山林が連なる所の土地利用の維持管理、また緒方平野に張り巡らせている井路網や数ある石橋、磨崖仏や石風呂等、人々が時代ごとに生活に結び付いた文化や信仰を育み伝承してきたものです。</p> <p>さて、この農村景観をどのように維持、守っていくのか地域の方々の考え、行政的な発想、他地域の取組等様々な情報を収集し、進めなければならないと考えます。</p> <p>つきましては、下記の項目について、市の見解を伺います。</p> <p>① 農業が主体の田園エリア、農業も変わろうとしているが、緒方川の景観を守るために必要なことは。</p> <p>② 生活の拠点市街地エリア、井路あつての景観が重要であるが、旧緒方村役場庁舎など市街地の整備や観光に結び付ける</p>	市長	

	発想は。		
2 市有地の活用と空き家対策について	<p>現在、市内の市営住宅の管理運用は県住宅供給公社が行っています。</p> <p>以前からこうした市営住宅の空き室が目に入るようになってきたのは気のせいでしょうか。老朽化した市営住宅も目立っています。市と公社は協議や連絡・情報等を共有しているのか、以下の項目について伺います。</p> <p>① 市営住宅の現況と維持管理、これからの運用は。</p> <p>② 遊休市有地の現状は。</p> <p>③ I・J・Uターンの方々への情報提供は。</p>	市長	

11番 川野 優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 人口減少対策 について	① 空き家バンク制度（登録・利用の状況）。 ② 関係人口の創出（交流拠点施設の活動 内容）。	市長	
2 耕作放棄地の 管理について	耕作を放棄した農地でも、土地改良区に 入っていれば水利費等の管理費の支払義務 が生じる（永久的に生じる）が、これを解 決する方法はないのか。	市長	

4 番 佐藤 昭生 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 市民の健康管理について	<p>市民の健康管理について伺います。</p> <p>① 市が年に1回実施している集団健診(基本健診・特定健診)の受診割合について。</p> <p>② 健診の受診結果による市民の健康状態について。</p> <p>③ 市民の医療費の状況について。</p> <p>④ 現在の市の取組状況、今後の対応策について。</p>	市長	
2 マイナンバーカードを利用した窓口業務の軽減化について	<p>マイナンバーカードを利用した窓口業務の軽減化について伺います。</p> <p>本年度当初予算でも計上されていますが、「住民票等コンビニ交付サービス導入事業」によって、マイナンバーカードを所持していれば、県外にいてもコンビニを利用して住民票等が交付されるようになりました。このキオスク端末(マルチコピー機)を市役所本庁舎に設置すれば窓口業務の軽減化につながるとは思います。導入計画があるか伺います。</p>	市長	
3 市職員の人材確保と職場環境について	<p>① 本市の職員は、20代から50代前半にかけての退職者の割合が高い印象を受けます。特に昨年度は多かったと思いますが、大分県や県内各自治体も同様なのか、実情も併せて伺います。</p>	市長	

	<p>② 市役所は、市内最大規模の職場であり、人数も最多です。市内随一のシンクタンクと捉えています。人材の流出・知的財産の消失は、市全体にとっての損失だと思っています。現在、職員の補充・確保はどのように行っているか伺います。</p> <p>③ 職場でハラスメント（パワハラ・セクハラ・モラハラ等）があった場合の対応、事前の防止策はどのように行っているか伺います。</p>		
--	---	--	--

6月20日(火)

7番 後藤 雅克 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
<p>1 豊後大野市職員の人材について</p>	<p>令和5年3月31日付の退職者が例年に比べ多いように感じており、非常に心配しております。また、年度末を待たずに退職される方も散見します。</p> <p>そこで、豊後大野市職員の年齢構成など人材について伺います。</p> <p>① 令和4年度の退職者数について（年度中の退職者・消防本部・市民病院はそれぞれ分けて答弁ください）。</p> <p>② 退職者数の推移について。</p> <p>③ 令和4年度の退職者の年齢構成及び退職理由について。</p> <p>④ 早期退職希望者の募集について。</p> <p>⑤ 早期退職希望者の応募で退職された人数と年齢構成について。</p> <p>⑥ 令和5年度の新採用職員の人数と年齢構成について。</p> <p>⑦ 今後想定される人材確保や、職場環境の不安要素に対する認識と対策について。</p>	<p>市長</p>	
<p>2 チャットGPTをはじめとする対話型人工知</p>	<p>質問すると人間のように答える対話型人工知能（AI）が注目を集めています。その代表格として米新興企業のオープンAI</p>	<p>市長</p>	

<p>能（A I）の活用について</p>	<p>社が開発した「チャットGPT」が有名ではあります。</p> <p>知りたいことを尋ねると自然な会話文で回答するほか、手紙や企画書、あいさつ文や感想文の作成、要約や翻訳、プログラミングなど、文章で表現できることであれば、数秒から数分程度で何でもこなし、社会を大きく変化させようとしています。</p> <p>企業や行政機関は事務作業の効率化に役立つと目を付け、試験導入を始めた自治体もあると報道されています。</p> <p>政府は4月に、関係省庁横断の「AI戦略チーム」をつくり、5月11日には、人工知能（AI）に関する政策の方向性を議論する「AI戦略会議」の初会合を首相官邸で開きました。対話型AI「チャットGPT」をはじめとする急速な技術の進歩を踏まえ、活用推進と規制・ルール形成の両面から検討を進めると報道されました。</p> <p>岸田文雄首相も出席し、「AIには経済社会を前向きに変えるポテンシャルとリスクがあり、両者に適切に対応していくことが重要だ。」と強調されておりました。</p> <p>そこで、本市の対話型人工知能（AI）の活用についての考え方を伺います。</p>		
----------------------	--	--	--

6 番 原田 健蔵 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 エイトピアお おの改修工事に ついて	<p>① 平成 10 年建設以降、25 年が経過する 中、その果たしてきた役割・成果につい てどのように捉えているのか。</p> <p>② 改修工事の経費と概要、そのタイムス ケジュールについて。</p> <p>③ 公立文化施設として特殊な専門性を有 することから、コンサル等の登用の考え はないのか。</p> <p>④ 人口減少、高齢化時代を迎え、今後の 活用をどのように考えているのか。</p>	市長	
2 森林管理につ いて	<p>① 本市における森林総面積とその内訳に ついて。</p> <p>② 災害に強い森林づくりの対応につい て。 ア 急傾斜地の広葉樹林化。 イ 間伐等による適正管理について。</p> <p>③ 再造林、育林の担い手確保について。 ア 早生樹植林の考えは。 イ おおいた林業アカデミー研修実績。 ウ 新規就農者への造林 O J T 研修実 績。</p> <p>④ 森林管理における J-クレジット制度 導入について。</p>	市長	

<p>3 シニア向けスマホ活用への支援について</p>	<p>昨年6月定例会において提案了承された事業。 デジタル活用に不安のある高齢者等の解消を目的に、その活用推進に向けた講習会の実施状況について。</p>	<p>市長</p>	
-----------------------------	--	-----------	--

8番 嶺 英治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 観光施設等の再生について	<p>3つのツーリズム、なかでもスポーツツーリズムが全天候型施設を始め、ネーミングライツなどで脚光を浴びている。それはそれで新しい本市の可能性を見出す取り組みとして理解している。</p> <p>その中心である三重町のJR三重町駅も改修が予定され、駅周辺部も新しい息吹が見える。</p> <p>翻って、本来本市がもつ優良資産、いわゆる観光施設等の再生がおざなりになっているのではないかと心配の声がある。観光地の基点である原尻の滝の「道の駅 原尻の滝」は全国でも屈指の道の駅で歴史も古い。観光施設等の再生について「着手すべき」という視点で以下の質問をする。</p> <p>① 基点である原尻の滝の遊歩道について。</p> <p>② 最寄り駅の100周年を迎えた緒方駅、トイレ、自転車置き場などについて。</p> <p>③ 運転者視認用のグリーンベルトの施工について。</p> <p>④ 旧緒方村役場のスポットライトの施工について。</p> <p>⑤ 道の駅の再生について。</p>	市長	
2 就労人口の確	人口減少が顕著である。いろいろな事業	市長	

保について	<p>者に話を聞くと慢性的な人手不足と聞く。新聞では県下の新規就農者人口は昨年とほぼ変わらずのようだが、本市の地域農業については担い手不足が顕著である。</p> <p>そのような中、本年3月末の有効求人倍率は1.3倍と高水準である。言い換えれば人手不足である。</p> <p>その状況で「豊かなくらしと仕事をつくる」という市長方針の関係人口交流拠点施設「cocomio」の位置づけや、まち、人、仕事総合戦略の進捗状況を踏まえて、就労人口の確保、言い換えれば生産年齢人口の増、子どもの増という視点で以下を伺う。</p> <p>① cocomioの指定管理終了後の成果が人口増につながるか。</p> <p>② 総合戦略の進捗が人口増につながっているのか。</p> <p>③ 外国人労働者受入れ事業者への支援について。</p> <p>④ 慢性的な人手不足に対する短期的な政策、長期的な政策について。</p>		
-------	--	--	--

2番 工藤 秀典 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 旧朝地支所の跡地利用の計画について	<p>① 旧朝地支所の跡地利用がここのところ話題に上ることが多いのだが、今後の計画はどのようになっているのか。</p> <p>② 地元で家を持ちたいという意見があるが、なかなか良い土地が手に入らないという意見がある。住宅地として分譲することはできないか。</p> <p>③ 農地から宅地に転用すると時間が相当かかると言われているが、大体どれくらいの期間が必要なのか。</p>	市長	
2 鳥獣被害対策として支給している電気柵に対する補助金について	<p>現在鳥獣被害に対する補助金として、電気柵設置に対して補助金が支給されているが、本体機械の更新には補助がつけられていないが、セットでなく、本体だけでも補助を受けられるようにしてはどうか。</p>	市長	
3 带状疱疹に対する予防接種の補助について	<p>50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われているが、本市では補助金を出す計画はないのか。</p>	市長	

6月21日(水)

5番 春野 慶司 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 豊後大野市火葬場の残骨灰の処理業務を一般競争入札に付すことについて	<p>① 一般競争入札の導入へのロードマップの作成について。</p> <p>先日、大分市に確認したところ、6月23日に一般競争入札を実施することが決まっております。6月19日が指名願いの提出期限とのことです。件名は「大分市葬斎場及び佐賀関火葬場残骨灰売渡」となっています。予定価格も設定されており、適正な価格での落札となるでしょう。令和4年9月定例会での私の質問に対して、「他市(大分市)の実施状況を見て競争入札の導入を前向きに検討したい。」との回答でした。この度、大分市が実施に踏み切った現在、他市に遅れをとることのないよう早急に実施に向けて準備すべきと考えるがいかがでしょうか。</p> <p>② 処理業者が残骨灰から貴金属を取り出して金に替えていたことを担当課及び現場の職員は知っていたのか明確にお答えください。</p>	市長	
2 人口減少を食い止めるための施策としての企業誘致及び現存誘致企業との連絡調整について	<p>① これまでに人口減少対策として男女の出会いの観点から、出産の観点、あるいは子育て支援、はたまた新規就農や高齢者の健康維持等々おおよそできる限りの施策を実行してきました。しかしながら、以前の一般質問でご指摘申し上げたように、人口は年平均500人確実に減少しています。私なりに考えを巡らした結果、</p>	市長	

	<p>やはり働く場所がないところには人は集まらないのではないか。ここはひとつ原点に回帰するつもりで人口減少対策の第一の施策に企業誘致を打ち出してみてはいかがでしょうか。</p> <p>② 現在、豊後大野市には優良進出企業が多く存在します。これらの企業との連絡調整を密にすることで企業の抱える問題や市として問題解決のために何ができるか等のことが見えてくるのではないのでしょうか。新規の企業誘致はもちろん大事ですが、現在この本市で頑張ってくれている企業に、これからもずっといてもらうために、例えば市と企業との連絡協議会のようなものを設立してはいかがでしょうか。</p>		
<p>3 国の異次元の少子化対策による補助金（どのような名目で来るかは定かではないが）の用途について</p>	<p>6月中にいわゆる骨太の方針が発表されるらしいのですが、予算は5兆円くらいと言われています。国の施策としては、出産費用の保険適用・学校給食費の無償化・児童手当の所得制限の撤廃・児童手当の高校卒業までの期間延長・児童手当の多子世帯の給付額の増額・子育て世帯の公営住宅への優先入居・育児休業給付金の10割支給その他ありますが、自治体独自の施策も当然ながら認められるはずで、5兆円のうちの1兆円が地方の裁量に任せられるとして、本市には2～3億円位が分配されることとなります。2～3億の自由に使える予算は魅力的です。今のうちから職員に子育て支援に係るアイデアを募り、予算が決定したら、すぐに計画を実行できるようにしてはいかがでしょうか。</p>	<p>市長</p>	

3番 高野 辰代 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 「こども基本法」にそった市政の取組について	<p>令和5年4月1日に施行された「こども基本法」により、こどもまんなか社会を目指した施策が求められるが、現在の状況と今後の取組等について伺う。</p> <p>① 学校現場における「こども基本法」についての周知と学習の実施状況について。</p> <p>② 子どもたちを育む「第3の居場所」（こども食堂や放課後児童クラブ等）の状況について。</p> <p>③ こども基本法第11条に「こども等の意見の施策への反映」があり、こどもや若者、子育て当事者等の意見を聴き、施策に反映させるために必要な措置を講ずることが義務付けされているが、今後の予定はあるか。</p>	市長	
2 市の課題解決や施策の展開に向けて横断的な業務も必要な中、庁内の連携状況について	<p>市の課題解決や施策の展開について、庁内の全ての課の連携があると、相互に事業課題を理解し、別の視点での気づきや、仕事の効率化につながることもあるのではないかと考えるが、次について伺う</p> <p>① 横断的に各課が連携して実施している事業はあるか。</p> <p>② 庁内連絡会の状況について。</p>	市長	

	③ 予算編成前における係長会議は実施できないか。		
--	--------------------------	--	--

9番 吉藤 里美 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 人口減少対策 について	<p>厚生労働省が今月2日公表した2022年の合計特殊出生率は過去最低の1.26で、日本人の出生数は77万747人と、この7年で2割以上も減少したとのことです。</p> <p>本市においても、令和4年4月2日から令和5年4月1日までの1年間に生まれた子どもは101人と、前年の138人から37人の激減です。コロナ禍であったことも要因の1つかもしれませんが、危機的状況であると思います。</p> <p>現在、小中一貫教育校での教育が推進されており、巨費を投じて校舎の整備も進められています。せっかくの校舎が、今よりもたくさん子どもたちの学び舎になるようにと願っています。</p> <p>今後、出生数の増加、また、転入により子どもの人数を増やすためには、現状の施策以上の取組が必要と考えます。</p> <p>執行部のお考えを伺います。</p>	市長	
2 森林環境譲与税による林業振興と森林環境税の用途について	<p>温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税及び森林環境譲与税が創設されています。森林環境譲与税については、令和元年度から施行され本年度で5年目となり、令和6年度からは、環境税として国民1人年額1,000円徴収されます。</p> <p>以下について伺います。</p> <p>① 森林環境譲与税の現在までの活用状況</p>	市長	

	について。 ② 森林環境税徴収後の使途について。		
--	-----------------------------	--	--

10番 穴見 眞児 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
<p>地域福祉・老人福祉について</p>	<p>人口減少、高齢化が進む現状の中で、令和3年3月に豊後大野老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画が、令和4年3月には第4期豊後大野市地域福祉計画が策定されました。</p> <p>本市の福祉計画の現状と課題について伺います。</p> <p>① 地域福祉の推進にあたって、計画の推進体制の強化・充実が上げられていますが現状を伺います。</p> <p>② 老人福祉計画の中で介護予防・日常生活圏内ニーズ調査が行われています。結果を踏まえた上で、どのような対応が必要と考えるか伺います。</p> <p>③ 地域福祉を考えると、地域での支えあい在今后ますます重要になってくると思われます。市としての考えを伺います。</p> <p>④ 生活支援コーディネーターについて、配置と活動状況について伺います。</p>	市長	